



ガン検診、特定健診を必ず受診されますが、一部の方は検診を受けません。特に、ガン検診を受けない方が多いと思います。

その原因は、特定健診はメタボ診断が目的のため、ガン検診は含まれていません。ガン検診を受けるには別途、申し込みが必要となるからです。

あるお年寄りは、この2年間ガン検診を受けず、先日、ドックを受け、胃ガンを指摘されました。また、別のお年寄りは、痔出血を放置していましたが、先日、直腸ガンと診断されました。

私の地元は、多くの方が年金暮らしで、細々と暮らしておられます。ドックを受けるには、片道1時

間の総合病院へ行かなければなりませんし、費用もかかります。

そこで、私の提案なのですが、特定健診とガン検診の一本化はできないのでしょうか。お年寄りにとって、2度の検診申し込み、そして、2度の受診は少々きついに思います。

自覚症状に気付いて受診した時は、ほとんど進行ガンです。その時点で、入院療養、そしてターミナルケアに至るよりも、早期ガンを検診で発見の方が、医療費も安く済み、最善の医療になるのではないのでしょうか。

北海道医報へのご投稿等について

◇広報委員会◇

北海道医師会では、会員の皆さまから「学術投稿」「会員のひろば」等各種原稿を下記要領にて募集しております。是非ともご投稿いただきたくお願い申し上げます。

なお、写真作品のご投稿につきましては、ホームページに「フォトギャラリー」を設けておりますので、ご応募ください。

投稿要領

1. 原稿の締切
毎月10日までにいただいたものは原則として翌月号に掲載となります。ただし、「会員のひろば」については、受付状況により掲載号を決定します。
できるだけメール等の電子メディアでお寄せください。
2. 原稿の体裁と字数制限
 - (1) 原則として横書きといたします。
 - (2) 引用文以外は、すべて当用漢字、現代かなづかいを使用してください。
 - (3) 誤字、脱字、明らかな間違い等は広報委員会において訂正いたします。
 - (4) 1回の掲載紙面は、原則として2頁を限度とします。
医報1頁は約2,200文字です。ただし、タイトル、写真、図表等を含んでおりませんのでご考慮ください。
 - (5) 長文原稿および連載物は、広報委員会にて採否決定の上で分割掲載、掲載号等を決めさせていただきます。
3. 原稿の訂正、返却
次の場合は、広報委員会の決定に基づき、執筆者に対し訂正を求めるか、または返却いたします。
 - (1) 特定の個人・団体を誹謗、中傷する内容
 - (2) 匿名の投稿
 - (3) 本誌以外に既掲載のもの、あるいは投稿中のもの（二重投稿）
ただし、特に必要と認められる場合はこの限りではない
 - (4) その他掲載に支障がある内容
4. ホームページへの掲載
特にお申し出のないかぎりホームページに掲載されますので、予めご了承ください。

連絡先：北海道医師会事業第一課
TEL 011-231-7661 FAX 011-252-3233
E-mail : ihou@m.douji.jp